



それっ、ジャンプ!

5分間で何回跳べるかをクラス別に競う「長縄跳び大会」。勝岡小学校で学期ごとに1回実施されている。テーマは「みんなで協力しよう」。2月18日、学年最後のチャレンジにクラスが一つになった。

特集

図書館は「マナー」で成り立つ「公共施設」	2
行方不明資料397点、今どこに? / 「町民とともに育つ図書館」を目指して	
多世代交流センター「温泉館」を断念します vol.2	8
計画見直しの背景 / 断念の理由 / 今後の見通し	
まちの話題	12
長田小学校体育施設完成、文化の祭典 ほか	
子どもたちの声 No.3	16
意見発表者	
お知らせ	19
文化会館・図書館・健康・福祉ほか	
津軽三味線&パーカッション ジョイントコンサート	24
～文化会館自主文化事業～	

図書館は「マナー」で成り立つ「公共施設」

行方不明資料397点、今よりも「町民とともに育つ図書館」を目指して

町立図書館は、利用者のマナーに支えられて成り立つ「公共施設」です。しかし、その大切な財産である図書館資料397点の行方が分かりません。うち247点は、オープンからわずか172日間に分らなくなった資料です。汚されたり、壊されたりする資料も増えてきました。運営方針に掲げた「町民とともに育つ図書館」：理想と大きくかけ離れてしまった今、利用者施設が互いに育み合える関係を目指して、図書館でのマナーについて、ぜひ皆さんに考えていただきたいのです。



わずか172日間で、

247点が行方不明に

町立図書館には本やビデオなど約7万5000点（15年1月31日現在）の資料があります。これを管理するために、年に一回、「資料一斉点検」を行っています。昨年6月19日から27日までの9日間、新しい図書館（13年11月3日オープン）になって初めての資料一斉点検が行われました。資料一つひとつにつけられたバーコードを全て読み取るほか、定められた場所に資料があるか、書架の下やすき間に本が入り込んでいないかなども合わせて点検します。その結果、どうして

も行方のわからない資料、「不明資料」の存在が明らかになります。

この点検での不明資料は247点、それ以前の不明資料を含む累計では397点の行方が分かりません。このほとんどは、正規の貸し出し手続きを経ないで無断で館外に持ち出されているものとみられます。

前回の一斉点検はオープン直前の13年10月。わずか7カ月半（開館日数172日間）で、247点もの資料が失われてしまったのです。

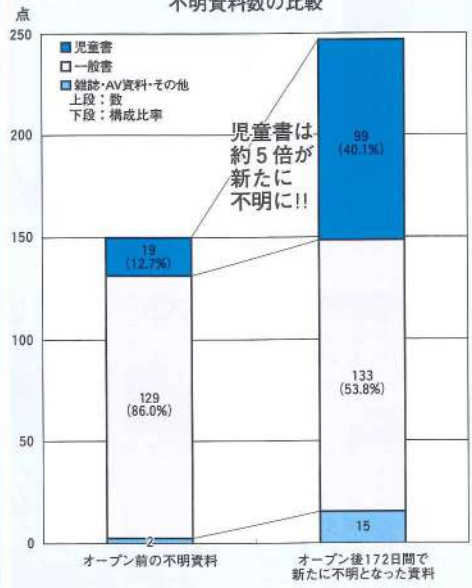
不明本の傾向は、絵本・料理の本・読み聞かせの本

247点のほとんどは本です（図書資料243点・AV資料3点・その他1点）。

表①を見てください。不明資料のうち「一般書」と「児童書」が大部分を占めますが、注目すべきは「新たに不明資料となった児童書の多さ」です。オープン前の19冊に比べ、約5倍の99冊の行方が分かりません。種類で見ると、児童書では「絵本」が75冊、「一般書」では「料理の本」が34冊、「読み聞かせの本」が27冊となっています（表②）。

これらの背景には、児童図書の充実や出入口近くの利用しやすい場所に「幼児コーナー」を設置していることなど、残念ながら、三股町立図書館として本来は誇るべきはずの特長が影響しているものとみられます。

表①：オープン（13年11月3日）前後の不明資料数の比較



児童書は約5倍が新たに不明に!!

表②：資料一斉点検で分かった不明資料247点の内訳

一般書(133点) 177,395円	ワースト3 絵本(75冊)「100まんびきのねこ」「すてきな三にんぐみ」「三びきのコブタのほんとうの話」「さんまいのおふだ」「長ぐつをはいたネコ」など
児童書(99点) 111,669円	料理の本(34冊)「簡単レシピで20分クッキング」「ピストロスマップ・レシピ(シリーズ3冊)」「ホットケーキの本」など
雑誌(11点) 4,360円	読み聞かせの本(27冊)「こちら本の探偵です。」「こころが満たされる本」「ねえこの本読んで!!」「読み語り絵本100」「私たちの選んだ子どもの本」「みんなの本棚」など
AV資料(3点) 6,789円	雑誌(11冊)「子どものとも(シリーズ5冊)」など
その他(1点) 880円	
合計(247点) 301,093円	

不明本には、「善意の心」を 乗せた寄贈本も含まれています

不明資料247点の総額は約30万円に上ります。これらの中には絶版となっていて、お金をかけても手に入ることができない貴重な本もあり入る。さらに知っていただきたいのは、「善意で寄贈された本」が含まれていることです。本を手にした時、それと分かる目印は何もありません。金額や装丁では決して表すことのできない、本に込められた思いも失われているのです。

「防犯」より「使いやすさ」が優先です
図書館では、無断持ち出しによる不明資料を少しでも減らすため、簡単な貸し出し手続きですむシステムを導入したり、カウンターで利用者を待たせたり、常に複数の職員を配置したりして、利用者が借りやすいような工夫を行っています。

その一方で、現在は認めている「カバン等の持ち込み」や「図書館バッグの貸し出し」などのサービスが、無断持ち出しを助長しているのではないかと指摘もあります。しかし、図書館の目的は防犯ではありません。カバン等の持ち込みは、自分の資

図①:「利用カード」を作ってみよう! ※身分証明できるもの(免許証など)が必要です



図②:「返本ポスト」はとっても便利! ※「AV資料の返却」には使えません



料を図書館に持ち込んで調べることができるようにと認めています。図書館バッグは、借りた資料がたくさんになっても利用者が持ち運びしやすいようにと貸し出しているのです。建物の構造やサービスは、心ない人たちの「防犯」のためではなく、皆さんの「使いやすさ」を重視した結果のものです。

図書館ではこうしたサービスを今後も続けていきたいと考えていますが、無断持ち出しによる損失があまりに大きいと、サービスのあり方を検討せざるを得なくなってしまうかもしれません。そうならないためにも、無断持ち出しは絶対にやめてください。

図書館では、町内に居住する方はもちろん、北諸県郡4町や都城市、財部町、末吉町に住んでいる方、また町内に通勤、通学している方であれば、どなたでも本や雑誌、ビデオやCDを借りることができます。手続きが面倒だと思っている方も少なくないかもしれませんが、初めての方や学生の方でも次のような要領で簡単に利用できます(図①)。

1. 「利用カード申込書」に必要事項を記入してカウンターへ
2. 「利用カード」の発行を受ける
3. 借りたい資料をカウンターに持って行く

貸し出されるのは2種類



①「資料」
※「バーコードが目印!」
図書館資料には「ラベル」が貼られています。自宅に紛れ込んではいませんか?「三股町立図書館」の文字と「バーコード」があったら図書館資料です。返却してください。本の場合は「ビニール製の保護シール」で覆われていますので、手触りでも分かります。返本ポストで返しても構いません。ただし、「館内」シールが貼ってある資料は貸し出しができません。

②「図書館バッグ」
資料を借りる時に一緒に貸し出されます。本やビデオを大切に、たくさん持ち運ぶことができます。転出などで資料の貸し出しが利用できなくなったり、不要になったりした時は返却してください。

たったこれだけです。料金は無料、利用カードはその場で発行されます。ただし、住所・氏名・年齢が確認できるもの(免許証や保険証、学生証など)の提示が必要です。2回目からは借りたい資料と利用カードと一緒にカウンターに提出するだけです。図書館資料は1人5冊まで15日間、

AV資料は1人2点まで8日間、それぞれ借りることが出来ます。返却も簡単です。カウンターに資料を差し出すだけです。閉館の時は「返本ポスト」を利用してください(図②)。ポストは「総合文化施設正面入り口の東側」と「図書館北側」の2カ所にあります。

ただし、ビデオやCD、DVDなどのAV資料は、衝撃で壊れる恐れがあるので返本ポストは使えません。開館時間内にカウンターで直接、返却してください。

公共施設、皆さんの マナーで成り立っています

このように、図書館では幅広い皆さんを対象にした運営が第一に考えられています。なぜなら、図書館は皆さんの大切な税金で賄われる、「公共施設」だからです。

多くの方が利用する公共施設とは、利用者自身のマナーに支えられて初めて、誰もが使いやすくそして快適な場所として機能します。つまり、皆さん自身のマナーを欠いては、図書館の運営自体が成り立たないということになってしまうのです。

無断持ち出しによる不明資料の問題はもちろん、次に紹介する図書館が抱えるさまざまな問題は、皆さん一人ひとりのマナーによるところが大きいです。そして、マナーが図書館運営に大きく影響していることを、ぜひ皆さんに考えていただきたいのです。

破かれて、汚されて、 切り抜かれて…帰る本たち

貸し出された資料が返却されると、職員が破損や汚れがないかをチェック

クシ常に補修を行います。その数は月平均で約260点に上ります。図書館資料は大勢の方が触れるので、一般的に劣化が早いといえ、補修が必要な資料の中には、「丁寧に扱う」という基本的なマナーさえ守れば、ここまで破損や汚れが進むことはなかったのではないかと、そう思わせるものも少なくありません(6ページの写真)。

また、貸し出し・閲覧を問わず、故意にページを切り抜き、そのまま返却する悪質なケースも見受けられます。特に、雑誌や新聞を閲覧できる「ブラウジングコーナー」では、最新号の著作権を保護するために、貸し出しや複写(コピー)をお断りしています。そのためか、館内で雑誌が切り抜かれたり、破り取られたりする事件が後を絶ちません。次に閲覧しようとした方に、その事実を指摘されることも多いのです。

資料は大切な財産ですから、故意に損傷した場合は、弁償をお願いしなければなりません。

結果的には、資料を丁寧に扱わない利用者が、他の利用者に変な迷惑をかけていることとなります。

全国トップクラス

開館から1年間(13年11月3日～14年10月31日)の実績を、他市町村立図書館の13年度実績と比較。全国に133館ある「人口2万人以上3万人未満の町村立図書館」で、住民1人あたり貸出冊数(貸出率)は全国13番目、九州では熊本県西合志町について2番目です。全国トップクラスの利用がなされています。(出典「図書館年鑑2002」)

表③:県内の主な図書館との比較<出典「平成14年度宮崎県公共図書館・公民館図書室の概要」>

	人口 (人)	蔵書数 (冊)	登録者数 (人)	登録率 (%)	貸出冊数 (冊)	住民1人あたり 蔵書数 (冊)	貸出冊数 (貸出率)
宮崎市立図書館	305,034	320,620	83,596	27.4	517,484	1.1	1.7
都城市立図書館	131,463	267,609	32,043	24.4	333,262	2.0	2.5
えびの市民図書館	24,310	108,150	8,905	36.6	132,299	4.4	5.4
町立高鍋図書館	22,310	69,514	1,140	5.1	25,129	3.1	1.1
川南町立図書館	17,493	48,982	5,755	32.9	71,541	2.8	4.1
三股町立図書館	24,250	61,903	7,140	29.4	296,445	2.6	12.2

*人口、蔵書数、登録者数は14年3月31日現在。三股町立図書館の「貸出冊数」は、13年11月3日から14年10月31日までの実績

*登録率(登録者数÷人口)・住民1人あたり蔵書数(蔵書数÷人口)・貸出率(貸出冊数÷人口)



三股町立図書館
館長 中西 泰 昌

快適な図書館に…
ご利用をお待ちしています

図書館で「何が起きているのか」を、皆さんに知ってもらうため、残念な例をご紹介します。

図書館にとって、注意をしたり監視をしたりという作業は、本当に辛く悲しくさびしい作業です。

誰もが大切な時間をゆっくりと過ごせる、快適な図書館に皆さん自身で作上げてほしい、そして、決して自らのマナーの低さで、こうした貴重な場所が失われることのないようにしてほしい…そう願っています。

訪れた誰もが好みの本ときっと出会うことができるすてきな場所、それが図書館です。これからも多くの方々のご利用を職員一同、心からお待ちしています。

図書館では、本来の目的に加え、公共施設でのマナーを親子で確認しながら学べる絶好の場でもあると位置付けています。

皆さんの協力で、大きく広がるマナーアップの輪

こうしたマナーの悪さから生じる問題に対し、図書館では館内の見回りを強化しているほか、ポスターや窓口で呼び掛ける機会を増やし、マナーアップを図っています。

また、小中学生へマナーを指導する機会をつくらうと、職員が各学校を訪問し図書館の利用方法を説明する集会を開いたり、授業で施設見学

に訪れた児童生徒には開館時間内に実際に利用してもらい、雰囲気やマナーを体験してもらったりして理解を深めてもらっています。こうした活動を続けた結果、開館当初に比べ児童生徒のマナーは改善の兆しを見せてきました。

また、読み聞かせグループの活動の際には、参加者に親子での利用について説明したりもしています。

マナーアップ活動は問題解決への一つの手段に過ぎませんが、図書館ではすべての利用者一人ひとりのマナーアップが、理想とする図書館の姿に欠かせないという認識の上に立って、今後も活動を続けていく予定です。

「町民とともに育つ図書館」を目指します

図書館では運営方針、つまり理想とする姿に「町民とともに育つ図書館」掲げています。これは、「本に身近に触れることができ、親しまれる施設として図書館が成長することはもちろん、誰もが図書館を知の宝庫として、また発見の場所として活用できるように、利用者も図書館とともに成長しよう」という願いが込められています。図書館の役割は将来を担う子どもたちに読書のすばらしさを伝え、大人も含め「人」を育もうとする壮大なものなのです。

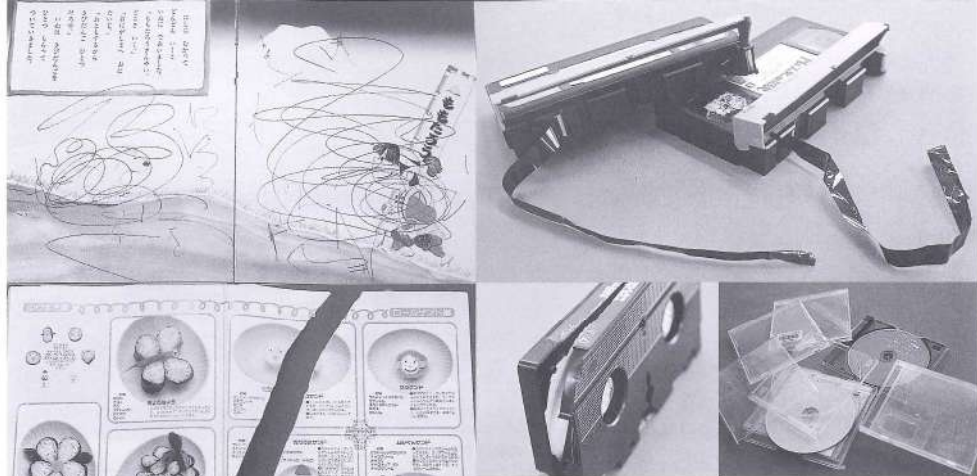
特に三股町立図書館は、「文教のまち」として教育尊重の気風あふれる本町にふさわしい教育文化施設として、皆さんの高いモチベーションに支えられた図書館へとさらに成熟していくことが期待されています。

理想とすべき図書館の実現、さらには誰もが楽しく気軽に、安心して利用できる図書館づくりに向けて、利用者一人ひとりのマナーアップは大きな力であり、決して欠かすことができない大切なものなのです。

この機会に、ぜひ皆さんも図書館の利用について、マナーについて、もう一度考えてみてください。

問い合わせ

三股町立図書館
☎51-3200



館内は、「飲食禁止」です

なぜ? どうして? こんな所に本が…



(撮影: 15年2月8日午後)

「この本はありますか?」
「ここにありませんが…」

館内では、閲覧者自身が書架から取り出して読んだ本は、原則として閲覧者自身が「元の場所に戻す」としていただきます。一見当たり前とも思えるマナーですが、なかなか守られていないのが現状です。

異なる種類の書架に収納されていたり、閲覧用の机の上に置き去りにされていたり、時には床に放置されている本もあります(写真)。

あるべき個所に収納されていない本は、その本を必要な人が即座に利用できません。このことは、本が図

1日に11点も補修

昨年8月から1月までで1,577点を補修。月平均263点、開館1日あたり11点にのぼります。開館後も、毎日補修していますが、程度や箇所によっては数日間を必要とします。例えば、背表紙の糊の乾燥に1日は必要です。当然、この間は誰も利用できません。



資料の取り扱い以外にも、さまざまな問題があります。それが、右に示したような「周囲に迷惑をかける行為」です。こうした例は子どもに限った話ではありません。大人によるものも多いのです。

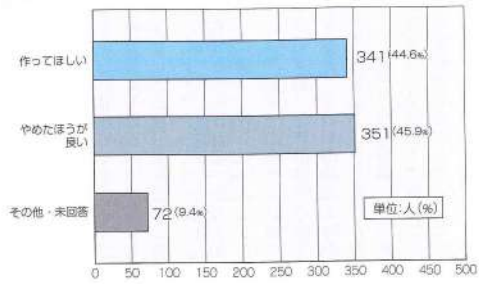
例えば、携帯電話を片手に大声で話しながら館内を移動する人、長時間にわたって立ち話を続ける人、ガムをかみながら入館してくる人、食べ残しや飲み残しを置いたまま帰ってしまう人などです(写真)。

また、実際にあった事例ですが、3歳の幼児が大声で駆け回り周囲に迷惑をかけていたので職員が声をかけました。しかし保護者の姿は見当たりました。1時間後、ようやく現れた母親に事情を聞くと、「図書館で遊んでおくように」と子どもに言い残し、自分は買い物物を済ませるために出かけてきたと言っています。

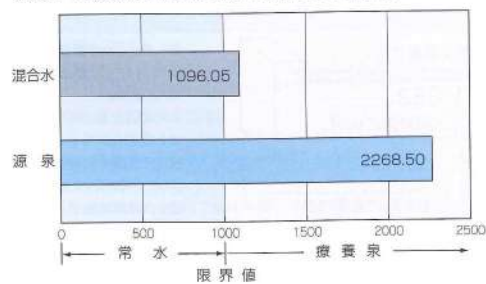
図書館では幼いころから読書習慣を身に付けてもらおうと、本を通した親子のふれあいができる「幼児コーナー」があり好評を得ています。が、決して「託児所」ではありません。

大声、走り回る、立ち話、携帯電話、食べもの、飲みもの

表①：アンケート「建設についてどう思いますか？(問3)」



表③：有効成分の溶存物質（ガス性のものを除く）



循環式を採用する温泉館では、安全性を高めるために「加熱し冷却する」という措置が必要ですが、コストや衛生上、冷却には地下水を加える

「健康増進」が図れない
 理由①
 泉質の低下が避けられない
 循環式で計画されていた温泉館において、レジオネラ症などの感染症を完全に防ぐためには、現在33・3℃の源泉の湯を60℃まで加熱しなければならぬことが明らかとなりました。町では、浴槽に入れられる適温まで冷却する方法の比較検討を行い、「地下水を加える方法」しかないと判断しました。

表②：アンケート「意見の要旨(問7・自由記述・単位:人)」

運営の赤字等で町民負担が増えるのが心配	86
衛生管理の強化を図ってほしい	65
他の施設や事業に力を入れるべき	59
早く着工してオープンしてほしい	45
特色を出し利用者を増やしてほしい	36
温水プールの増設や新設してほしい	36
施設の充実を図ってほしい	32
近隣に同様の施設が多数あるので必要ない	23
冷却による泉質劣化が気になる	22
サービスを重視してほしい	17
バリアフリー等で高齢者等への配慮を	16
計画から着工まで時間が掛かりすぎた	15
衛生面への不安を感じる	14
小規模施設へ見直した方がよい	14
掛け流し式を採用してほしい	12
温泉は町の発展につながる	12

「60℃に加熱した湯に、この33・3℃の源泉の湯を加えて冷却する方法」はどうでしょう。この場合、あらかじめ一定量をタンク等に貯留しておく必要がありますが、この時にレジオネラ属菌などが繁殖、湯が汚染される恐れがあります。そこで、タンク内の湯を塩素で殺菌しますが、この後は浴槽に入れるため、湯を2つの経路に分けることになります。1つは「60℃に加熱し再び殺菌する湯」、もう1つが「冷却用に向う湯」です。この「冷却用に向う湯」が問題です。タンク内で塩素殺菌をしたとはいえ、殺すことのできなかったレジオネラ属菌などがもし残っていた場合、循環により残った菌が繁殖してしまい、感染症発生にいたる危険性があるのです。集団感染問題以降、関係機関の指導でもこの点が強化されていき、源泉の湯を加熱することなく使うことはできないとしています。

「健康増進」が図れない
 理由②
 「循環式」が図れない
 泉質の低下が避けられない
 循環式で計画されていた温泉館において、レジオネラ症などの感染症を完全に防ぐためには、現在33・3℃の源泉の湯を60℃まで加熱しなければならぬことが明らかとなりました。町では、浴槽に入れられる適温まで冷却する方法の比較検討を行い、「地下水を加える方法」しかないと判断しました。

多世代交流センター

「温泉館」を断念します Vol.2

計画見直しの背景／断念の理由／今後の見通し

町では、計画を進めていた「多世代交流センター」事業計画を見直し、「温泉館」建設を断念することを決めました。

先月号では、これまで進められてきた計画の概要やアンケートの結果についてお知らせしました。今月号では、レジオネラ症集団感染問題の存在など見直しの背景を振り返るとともに、断念に至った直接的な理由や、「健康増進、多世代交流の場づくり」という温泉館に託されていた目的を今後どう実現していくかの見直しについてお知らせします。

背景① 多世代交流センター「温泉館」(以下、温泉館)の建設を断念した背景

には、昨年7月、日向市の温泉施設におけるレジオネラ症集団感染の存在があります。日向市の施設でも本町の温泉館計画と同じく、第3セクターによる運営だったことや温泉水を循環して使う方式(循環式)を導入していたことなど、類似点があった上、死者7人という被害規模の大きさに町民の関心も高く、町議会9月定例会では「建設着工は慎重にすべきではないか」との意見、質問が相次ぎました。

これらを受け、町では計画の推進について協議を続けながら、関係機関を交え当初の計画以上の厳重な管理体制を模索しました。その結果、温泉館の温泉水は「源泉の湯を加熱した後、地下水を混合して冷却した」にせざるを得ないことが分かった。

背景② 町民アンケートと懇話会

レジオネラ症集団感染の発生を背景に、町では昨年10、11月に「1800人を対象にした町民アンケート」を実施するとともに、委員15人による「温泉施設問題懇話会」を組織し、委員会形式による協議をお願いしました。

アンケートの回答率は42・22%で、「建設に賛成」が44・6%(341人)、「建設に反対」が45・9%(351人)という結果でした。(表①・②、詳細は広報みまた2月号掲載)懇話会については、保健所による講義や町との質疑応答、さらに町民アンケートの結果なども踏まえ、多くの提言や意見が寄せられました。

町では、町民アンケートの結果や懇話会での議論をもとに、さまざまな要因を総合的に考慮した結果、温泉館の建設を断念することを決定し、1月27日に開かれた臨時議会で、継続費や今年度一般会計予算を減額するなどの措置を取りました。

「健康増進」が図れない
 理由③
 「循環式」が図れない
 泉質の低下が避けられない
 循環式で計画されていた温泉館において、レジオネラ症などの感染症を完全に防ぐためには、現在33・3℃の源泉の湯を60℃まで加熱しなければならぬことが明らかとなりました。町では、浴槽に入れられる適温まで冷却する方法の比較検討を行い、「地下水を加える方法」しかないと判断しました。

これにより、温泉館で使用する温泉水が「源泉の湯6割、地下水4割」となりますが、この最大の欠点は「泉質の低下」、つまり温泉水の効能低下が避けられないことです。水を加えた後の泉質を専門機関で分析したところ、効能を示す「有効成分の溶存物質」の値が源泉の湯に比べ約半分減少しているという結果が出ました。化学的データは低下させていることが明らかとなりました。(表③)

では、なぜ地下水を加える方法しかなかったのでしょうか。地下水を加えることで泉質が低下するのであれば、別の冷却方法を用い、源泉の湯をそのまま使えば、循環式でも泉質の低下は起こらないはずですが、この冷却方法についても複数の案が検討されました。

まず、「加熱した湯そのものを適温まで冷まして、そのまま温泉水と

では、本町の湧出量で掛け流し式を採用した場合、どの程度の施設になるのでしょうか？湧出量から浴槽の大きさを計算してみよう。

図②を見てください。湧出する日量約100トから、福祉館で計画されているデイサービス用の42ト（7トの浴槽×6時間稼動）を優先的に確保した場合、残りは58ト（100ト-42ト）です。これを「14時間稼動する男女別2つの浴槽」で使うと仮定すると、1つの浴槽は1時間あたり約2トを使うことができます（58ト÷14時間÷2浴槽）。しかしこの量では「2辺四方の浴槽」しか賄うことができません。

町では、泉質の低下が明らかになったことや、現在の湯量では「掛け流し式」が採用できないことを理由に、温泉館が目的としていた「健康増進」を図ることは難しいと判断しました。

理由② 「多世代交流の場」となれない

温泉館の目的には「多世代交流の場づくり」も掲げられています。これは、町民はもちろん近隣市町村の住民にも利用され、幅広い交流が図られる施設となることを目指している、実現のためには大勢の方々利用が前提です。

近年、温泉施設の愛好者らによる団体や施設経営者、学会などでは、独自に「温泉の評価」をしたり、そ

式で運営する予定でした。第3セクターとは、「市町村などの地方公共団体や国が資本の25%以上を出資して設立された事業体」のことです。近年、第3セクターの経営が行き詰まる事例が全国的に多く見られ、公的資金の投入も大きな論議を呼びました。町民アンケートでも、自由記述で「運営の赤字などで町民負担が増えるのが心配」という主旨の意見が一番多く寄せられるなど、第3セクター運営に対する住民の高い関心が伺えます。（表②）

温泉館計画では「入浴料金400円」と設定、「平日利用者500人、休日800人」を想定し、そこから施設運営費を賄う試算を立てていました。しかし、集団感染問題以降は関係機関の管理指導が厳しくなり、衛生管理費をはじめとする支出額が増える見込みが出てきました。さらに、先に述べた類似施設への聞き取り調査で判明した「利用者の1割減少」を収入に当てはめた試算では、1年あたり約2000万円の赤字になることが明らかになりました。

多世代交流センターの今後 「福祉館」と「温泉スタンド」

町では、健康増進や多世代交流という温泉館の目的達成が難しいこと、利用者減による新たな赤字が生じてしまうことなどの理由から、温泉館の建設を断念することとしました。しかし、多世代交流センターのもう

表④：アンケート「温泉スタンドの整備活用について(問5)」の回答要旨(建設をやめた方が良くと答えた方への設問・自由記述)

現状維持 (22人)	意見：今のまま利用させてほしい・ほしい人が使えればよい・温泉施設は使いたくても使えない人がいる ほか
すべて廃止 (17人)	意見：利用したこともないしこれからは使わない・高齢者には使えない・わざわざもって帰るのがめんどろ ほか
温泉水の有料化 (13人)	意見：お湯を安い金額で販売する・一部の利用だったら無料では不公平・有料にして希望者には配送を行う ほか
充実と配送 (9人)	意見：スタンドを充実させ配送サービスを行う・個人の利用は取りに行き公共施設には配送を・スタンドの増設 ほか
スタンド充実 (9人)	意見：時間帯や時期で込み合うので増設しては？・違った形で収益を上げてほしい・他の場所にスタンドを作る ほか
配送サービス (7人)	意見：高齢者の利用が進む・配送があれば利用したい・タンクを持っている人だけが使えるのはおかしい ほか
PRする (7人)	
デイサービス等で利用する (6人)	
小規模温泉 (4人)	
プール (2人)	
その他 (3人)	



温泉スタンドは12年4月、総合文化施設の南東に設置されました。温泉施設の完成までの間、源泉の湯を有効に活用しようと無料で提供しているものです。容器を持参すれば、簡単なボタン操作で利用できます。

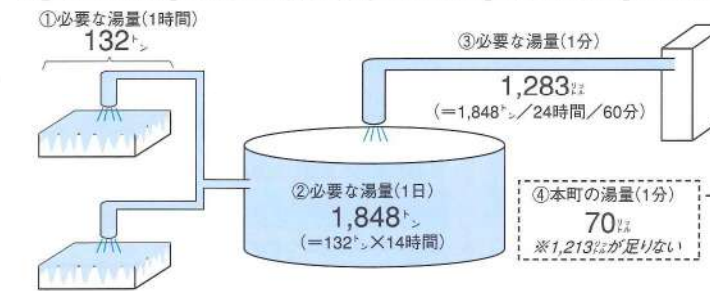


13年9月から14年1月までの調べでは、1日平均36件(平日35件・週末39件)の利用がありました。

一つの柱である「福祉館」は計画どおり進める予定です。さらに、源泉の湯や土地の有効活用などで、温泉館が目的としていた「健康増進」や「多世代交流の場づくり」を実現できないか、新たな方法を検討しています。

具体的には、福祉館内のデイサービス

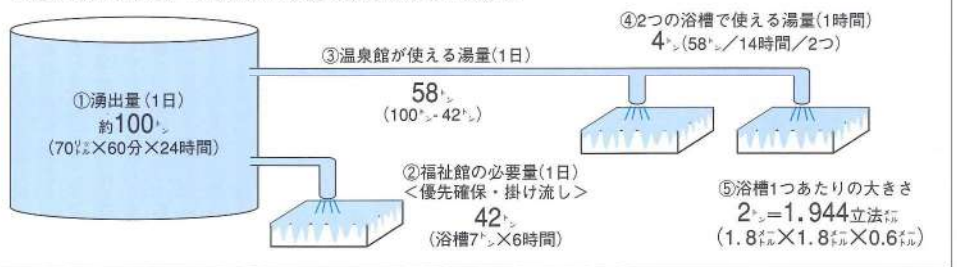
図①:「掛け流し式」を採用した場合に「必要となる湯量」と「本町の湯量」との比較



図①:「掛け流し式」が採用できないことを示している。毎分1,283トの必要量に対し、本町の湧出量は毎分70トしかない。

図②:本町の湧出量で掛け流し式を採用した場合、どの程度の浴槽が作れるかを示している。男女2つの浴槽を14時間稼動すると仮定すると、「約2辺四方の浴槽」しか作れない。

図②:「本町の湯量」で「掛け流し式」を採用した場合の浴槽



の結果を公表したりする動きが顕著になってきました。ある団体の例では、施設の脱衣所などによく掲示してある、いわゆる「源泉の成分表」とは異なる、「浴槽水の成分」を評価対象と位置付け、調査や公表をすでに行っています。これによると、循環式温泉は掛け流し式温泉に比べて塩素濃度が高かったり、地下水との混合により効能を示す数値が低くなりがちです。

利用者は、こうした情報をもとに新たな指標で、温泉を選ぶことが出来るようになります。全国的に温泉施設の建設が相次いでいることや、「循環式は衛生管理が悪いのではないかな」といったイメージがあることを考え合わせると、将来、循環式温泉では利用者離れが進むことも予測されます。

近隣の類似施設への聞き取り調査では、日向市の集団感染問題が発生した直後、利用者が平均してそれまでの3割減少し、現在なお1割が減少したまま推移しているということも分かりました。

こうしたことから、循環式を採用する温泉館が人を集め、その目的とする「多世代の交流を図る場」となることは難しいと判断しました。

理由③ 「第3セクター」への不安

温泉館の経営は「第3セクター方」という設問には、99人の方が意見を寄せました(表④)。

温泉スタンドは現在、1日平均約36件の利用があります。温泉館の開業と同時に廃止することとしています。したが、町では、もっと広く多くの方々に利用していただくことができるよう、例えば、源泉の湯の配送サービスなどを導入することも視野に入れて、源泉の湯の有効活用を検討しています。

また、「温泉館」として予定していた施設面積約2500平方メートルの敷地を、多世代交流の場としてのよう

「福祉館」、17年春の 供用開始を目指します

温泉館の断念に伴い、福祉館の機能や規模は計画どおりとしつつも、多世代交流センター全体の設計変更は必要です。町では、今年の夏までにはこの設計の変更を終えたいと考えています。そして、早ければ今秋にも着工。16年中の完成後、準備期間を経て17年春の供用開始を目指しています。

■問い合わせ
多世代交流センター準備室
☎52-1111(内線251)

農村と都市の掛け橋に イベント「あぐりふえすた」開催



大好評！そばも野菜も三股産

食会のほか、新鮮な牛乳を使ったバターづくりやポニーの乗馬体験、農業機械の展示や試乗も行われました。

中でも、町内の農産品・加工品の即売コーナーでは、用意された野菜が午前中で完売するなど人気を集めていました。

また、会場中央に設けられたステージはロール（刈った飼料をビニールで円筒形にまとめたもの。直径約1.1m、高さ約1.2m）を並べた手作り。フォークソングのライブやマジックショーなども催され、一日中ににぎわいを見せました。

町グリーンツーリズム推進協議会（会長吉瀬和明助役、14人）主催によるイベント、「あぐりふえすた」が、1月26日、中米の「百姓屋」周辺で開催されました。

農村の魅力を広く知ってもらうとともに都市との交流を深めようと開催されたもので、熊本県や大分県の方を含む約600人が訪れました。

作付面積で県内第3位を誇る（51畝・14年実績）町内産のそばで手打ちした新そば550食の試

グリーンツーリズム：都市部の方が農村の自然や文化、人々との交流を楽しみ滞り型の余暇活動。農村にとっては地域資源を活かしたまちづくりができる点が注目されている。

三股町グリーンツーリズム推進協議会：13年5月、町内におけるグリーンツーリズムの推進を目的に設立。農業体験や交流で農村の魅力を伝え、農業振興や経営安定を目指し活動している。14年には福岡県の中学生32人を修学旅行で受け入れた。



ロールを使ったステージ、味がありました

長田小、待望の施設が完成 体育館、プール、運動場



体育館は屋根瓦が特長

2月2日、長田小学校（村田土穂校長、43人）で体育館、プール、運動場の落成式が行われました。

同小では、約200㎡離れた旧三股東中学校との共用施設だった体育館と、同跡地に造られたプールを使っていました。県道33号線の整備による交通量増加に伴い事故の危険性が懸念されたほか、施設の高齢化も進んだことから建設計画が立てられたものです。

13年度は学校南側に取得した新たな用地に運動場を整備。14年3月に元の運動場位置に体育館とプールを着工し、ともに昨年11月までに完成しました。用地購入、建設工事、監理等を含む総事業費は約3億6323万円です。体育館は床面積901・75平方



補助プール(右)も併設しています



棒踊りが華を添えました

併設で、バスケットボールコート1面がとれます。プールは25㎡コースが3本、横に補助プール（40平方メートル）も併設され効率よく運営される構造です。体育館と、プールの更衣室の屋根には粘土瓦が使われました。

式には全校児童や父兄、地区住民ら約200人が出席。4～6年生児童による棒踊りや奴踊りが披露されるなど、地域を挙げて完成を祝いました。

華やかに「文化の祭典」 多彩な内容で2000人

三股町文化の祭典（同実行委員会、町生涯学習推進会議主催）は2月8、9日、文化会館で開かれ、延べ約2000人が訪れました。

これは町民の文化芸術、生涯学習活動の発展を目的に開催されたもので、今年が3回目。3種類のまつりで構成され、歌や踊りの披露や、講演会、作品の展示など多彩な内容で実施されました。

8日の「童謡まつり」にはグループや保育園など16団体約410人が出演。息のあったコーラスを披露しました。午後5時からは「中山圭以子童謡コンサート」を開催。訪れた家族連れらは一緒に口ずさみながら、童謡のすばらしさを実感していました。

同じ8日の「文化芸能まつり」では三股町短歌会と小学生による



公開歌謡みや、日舞、郷土芸能が披露されたほか、鹿児島大学教授原口泉氏が「バイオニア三股の歴史」と題して講演。樺山城と梶山城を築いた樺山資久や、明治の地頭三島通庸の功績を時代背景とともに詳しく解説し、訪れた歴史ファンらは熱心に耳を傾けていました。

9日の「元氣まつり」は、公民館教室などで生涯学習に取り組む24団体約350人が日ごろの練習の成果を発表しました。また、女優の藤田弓子氏が「いつも何かにときめいていよう」と題して講演。聴衆に「健やかにイキイキとした人生を送るために笑顔で過ごしましょう」と呼び掛け、笑顔の作り方も指導。楽しい口調とユーモアたっぷりの話題に、会場からは大きな笑い声が上がっていました。

期間中は、生涯学習教室の作品もホワイエに展示され、訪れた人々の目を楽せました。



約400点の作品を一堂に展示



「いつも笑顔を」藤田弓子さん いつまでも心に残る童謡…歌声が響きました



「じょうろ」で種まき たばこ耕作振興会



前後に移動しながら満遍なく…

1月26日、宮之原共同育苗センターで、町たばこ耕作振興会（小林謙二郎会長、25戸）による「葉タバコの種まき」が行われ、生産者など約50人が参加しました。

葉タバコの種は非常に小さいのが特徴。そのため30分（生産額180万円相当）の苗を作るのにわずかに小さじ1杯分（0.5g）の量しか使いません。同会では水に混ぜようろでまきますが、シラスに混ぜる地域もあるそうです。

2月22日、約1月に育った苗を生産者が移植し、収穫は5月上旬から7月末の予定です。同会では昨年の作付面積は45畝、総生産量127t、生産額約2億6612万円、今年も同規模を見込んでいます。

がんばれ!!
三股中学校

陸上部

部活動紹介③

「部員みんなで前進!!」



陸上部の練習は主に学校のグラウンドです。大会のない12月、2月は上米公園や旭ヶ丘公園で練習しています。もうすぐ冬期練習も終わり、大会へ向けた練習に少しずつ変わってきています。秋の県大会では「男女アベック優勝」することができました。今年の夏の県大会はほとんどの2年生にとって最後の大会なので、みんなでまた優勝し、最高の思い出を作りたいです。そのためにも、他の部員もがらばって忘れることを忘れず、この練習を同じ部活動生として、またライバルとしてみんなが前進し



高の思い出を作りたいです。そのためにも、他の部員もがらばって忘れることを忘れず、この練習を同じ部活動生として、またライバルとしてみんなが前進し

部員数/	26人	1年男子5人	1年女子5人
		2年男子10人	2年女子6人
Motto /	三股魂で	駆けぬげる	
主な戦績 /	H14秋季県大会	男子の部	総合優勝
		女子の部	総合優勝
顧問 /	松下清美		

■女子主将



芝原百恵さんは、2年生が引退して、1、2年生26人が毎日練習をしています。陸上部は1年生と2年生が仲の良い部活なので、とても楽しく練習しています。冬は大会がないのできついな一生懸命です。12月に行われた強化合宿はきつかったけど、とてもやりがいがありました。先輩たちが作り上げてきた三股中陸上部を、私たちが1、2年生が引き継いでさらに良い陸上部にしていきたいです。目標は「夏の大会男女総合優勝」です。「3年間の継続を誇れる部になりたい」

■顧問



松下清美さんは26年で活動しています。一人ひとりの目標はそれぞれですが、3年間続けてよかったです。今までもようぶな先輩が卒業していききましたが、一生懸命に頑張る生徒たちの姿は忘れられません。どんなにきつい練習にもついてきてくれる生徒たちと一緒に、私も頑張るつもりです。

文芸三股 (第51回)

短歌 (三股町短歌会)

猫もまた時代と共に生くるなりキヤット
フードをかりかりと囁む
長尾 イク子

時の流れと共に食生活も豊かとなり、猫の食事も変わってキヤットフードを与えるようになりました。ねずみもとらなくなり、フードをおいしそうに食べる姿に時代の流れを思います。

友の計に気付くことなく過しきで遅き悔
やみの足重きかな
小林 セツ子

親しくしていた友が亡くなって、足とり重く、友の霊前に「ごめんさい」と、胸いっぱいの思いをこめ手を合わせました。

俳句 (三股椿寿俳句会)

刺羽来る病窓よりの金御岳
中村 千矢子



病室が新館の方でも気持ちよく過ごすことができそうです。おまけに前方窓の向こうは金御岳が真正面と暗くすると周りに灯がかすかともるようでした。

もつこりと句をこじこめ春キャベツ
前田 千代

ふつくらと春を閉じ込めたようにまいてる、春キャベツ。スーパや千切りにしたキャベツはほのかな甘みがあって大好きな野菜です。

郷句 (三股郷句)

ち寝られん 晩な真夜中け 一杯飲つ
楠原山椒

人間誰しもよく寝られない晩が時々あるもので、寝ようとしてあせればあせるほど、目がさえてくるものである。一杯飲んだのが効果があったかどうかはわからないが。

お年玉 裏から見れば 透けつ見え
隈元 都城男

毎年のことながら、お年玉がもらえるのがあたり前という時代。われわれの子供時代はなかなかもらえるものではなく、近頃は金額も大きく、一人で何万円ももらう子もいるよう。親もじいちゃんばあちゃんも大へんだ。

「町長への手紙」

分析とお礼

町が取り組んでいる行政改革に皆さんの意見を役立てようと、「町長への手紙」を12月号で募集しました。2月17日現在、19人から手紙をいただきました。27項目に分けると、「要望」13件(48・1%)、「提案」10件(37・0%)、苦情2件(7・4%)となっていました。19人の性別では男性6人、女性8人、不明5人。年代別では60代が4人、30代・40代・50代がそれぞれ3人でした。なお、個別に回答が必要なものについては、それぞれの担当課や関係課から回答しました。寄せられた手紙から一部を紹介いたします。

多世代交流センター建設について、一日も早い完成を希望しています。(Tさん・50代)
温泉施設計画については、計画どおり建設してほしいです。駅前には、昔は活気があって楽しかったが今は淋しい限り。商工会の協力を得て屋台や露店を出し、町内外の人に親しんでもらう努力をしてほしい。(Oさん・40代)

町立病院の整形外科を充実して、温泉を町立病院エリアに持ってきてリハビリに利用してほしい。(Sさん・40代)
温泉は中止したほうがいいと思います。家族風呂と介護風呂だけを主にした温泉、リハビリを兼ねた施設を造るといいような気がします。(Nさん・50代)
温泉は造らず、健康のためにプールを造ったらどうでしょうか。三股町では資源ゴミ収集が行われ、ゴミ減量化が図られているのですが、水を多く含んだ生ゴミがまだ出されているなど改善が必要だと思います。町民の心掛けて町財政負担が少なくなります。町民への指導の必要性を感じます。(Mさん・60代)
支部長としてごみステーションの管理を班長さんと共に行っていますが、粗大ごみがごみステーションに捨ててあったり、資源ゴミの収集場に布巾や燃やせない物を持ち込んだり。あまりにも自分本位で、リサイクルの仕事に関わる方々のことなど念頭にない行為が目立ち、残念です。(Mさん・50代)
年々、子どもの虫歯予防への意識が強くなっているように思いますが、他町ではフッ素洗口などが行われているようですが、三股町でもぜひ考えていただきたいです。(Kさん・30代)

金婚祝賀会ありがとうございました。50年、「ここまで来ました」と喜んでいて。合併について、私たちは反対です。(Kさん・70代)

三股町の発展に伴い30・50年先を見て、道路の整備拡張が必要だと思えます。公共下水道の下水坑道に電気、電話、ガス管などを敷設すれば、快適な生活環境になるのではないかと思います。(Kさん・60代)

勝岡の新坂は夜になると暗いので街灯をつけてほしい。(Oさん・40代)
道路に物干し台を出し洗濯物を干している所があり何かと迷

感です。見た目にも環境にも良くないと思います。(Sさん)

「広報みまた」12月号を通じて、行政改革をテーマとして「町長への手紙」をお願いしましたところ、多くの町民の方から貴重なご意見、ご要望を寄せていただきました。誠にありがとうございました。これら皆さまの貴重なご意見を十分参考にさせていただきまして、町政を推進してまいりますと存じますので、今後ともよろしくご指導をお願いいたします。三股町長 桑畑和男

国際交流員のコーナー

Anthony



もうすぐバレンタインデーですね。オーストラリアでもバレンタインデーに贈り物をしますが、日本とは少し違います。ホワイトデーがなく、男の人から女の人にプレゼントを贈ります。贈るのは好きな人だけで、他の人に義務であげることはありません。バレンタインの贈り物にはカードやチョコレートやバラの花などは人気があります。男の人からだけでなく、女の人からもプレゼントをもらいます。ラッキーにもバレンタインプレゼントをもらった時、誰から送られてきたのかわからないように贈り主が自分の名前を知らせない場合もあります。名前を秘密にするのは、その人を好きだということが知られるのが恥ずかしいかもしれませんが、それが、「誰かが私(僕)のことを好きなんだ!」と、もっとワクワクするバレンタインデーにするためのようです。

子どもたちの声

No.3

昨年11月3日開催しました「子どもの声を聞く会」での発表作文を、1月号から掲載しています。
今月号では小学生1人、中学生2人の作文を紹介します。

みんなでつくる

三股町



宮村小学校6年 歩さん
山領

私は、今年の夏に、三股町の代表として沖永良部に行きました。この研修で自分の足りないところや、郷土の大切さ、人への思いやりを学びました。

私が、学校へ行く時に通る道には、いつもごみが捨ててあり、とてもきれいです。私はそれを見て、「私が捨てたのではないから拾わなくてもいいや。」と思いをそらしてきました。それに比べて沖永良部の道はにはりは落ちていません。あるのはたくさんのお花です。また、船こぎ大会の後、みんなと公園でお弁当を食べて

方の体験談・意見は、何よりも頼りになるのだと思います。そして、自分から仕事を体験することによって自分の将来が見えてくるのではないかと思います。最後の三つ目は、目標をもつことです。目標をもつことで、自分の将来の第一歩として少しずつ歩んでいけると思います。でもこれは、前の二つよりも自分の将来を見つけるのが遅くなるわけですが、確実に目標を達成できると思います。何事にも目標をもつことで、人生の支えになってくれると思います。なぜ、僕がこのように考えるかというと、中学三年生というう人生の岐路に立っているからです。

中学三年生というのは、勉強や将来などいろいろなことで悩み、不安をもつ時期だからです。いろんなことを深く考えたいと思うことは、だれだつてきつことだと思えますが、僕はこのことを「人生の試験」だと思っています。僕の将来の夢としては、警察官に

なりたいと考えているところです。なぜこの職業を選んだかという、自分の性格や興味関心といういろんな角度から考えて決めました。もともと「警察官にしよう」と思ったことは、警察官の仕事でした。警察官の仕事は、社会のルール

と、聞いたので、「いいえ、宮崎県の三股町から、勉強に来たんです。」という、

「そうかい沖永良部を楽しんで」と言っていました。それからしばらくしてそのおばあさんがおうだんぼを渡ろうとした時、どこかのお姉さんが手をかしていました。沖永良部の人はい人が多いなあと思いました。そして三股町は、どうだろうかと思

私は、沖永良部と三股町の違いは何だろうかと考えてみました。私の知らない所ややっている人はいりかもあるけれど、三股町はごみが落ちていることと、お年よりに手を貸す人が少ないのではないかと思っています。でも三股町には沖永良部よりもいい所があると思いました。たとえば道路の整備がよくされて、交通の便がよいことや文化施設が多くあります。このことは、とても恵まれているなあと思います。そこで、私たちが、あいつやごみ拾いやお年よりに手をかしたりすることをもちとやればい

は国境というハードルを越えて、お互いが信頼されるようになることだと思えます。今年の夏、私はオーストラリアにホームステイしてきました。私がホームステイをした理由は、英語を少しでも活用し、ホームステイファミリーと充実した日を過ごしその国の文化を学びたかったからです。今回のホームステイで一番心に残っているのはホームステイファミリーとの生活と、文化的な事でした。オーストラリアに着いたばかりの時は、話す内容を決めていた万全の準備だと思っていたのに、ホームステイファミリーと会ったとたん頭のなかがいっぱい白くなってしまっていました。でもホームステイファミリーは、そんなことは気にせずといてくれています。むしろ話をかけてくれました。もちろん話して分らない単語等もあって、私が辞書で一語一語調べていると、ホームステイファミリーも一緒に探してくれました。いつもとても優しく、少しでも会話ができると、メモ帳を準備してくれました。またある日はドライブに海まで連れて行ってくれたこともありまし

た。いつも何気なく受けている優しさ、そして温かさ。それが国境

を越えて、ひしひしと伝わってきました。ホームステイ中の学校授業に、折り紙で小学生との文化交流の時間が設けられていました。教える方も教えられる方も楽しく日本の文化について交流できました。今まであまり知らなかった日本の文化を少しでも学ぼうとしてくれる姿勢がとてもうれしく感じました。そして週末にはホームステイファミリーが赤ちゃんの洗礼式に連れていってくれました。そこで、生まれた赤ちゃんに聖水をかけて唱えたりする等と、文化的な交流ができました。そこで日本語を話せるオーストラリア人のある人と会いました。彼は昨年まで日本で英会話の教師として日本へ来たそう、日本語を完璧にマスターしている方でした。彼はホームステイファミリーからの私に対しての思いを私に教えてくれました。「ホームステイファミリーはもつとあなたと話したいみたい。だからもつと、積極的に話してね。」と

明日からはもつとお話そう！と思っているうちにもうお別れの時間が出てきました。たった二週間という短い時間で、どれだけお世話になったのだろうか。それを感じて涙が止まりませんでした。学校のある日はいつもお弁当を

自分の将来



三股中学校3年 牛谷 貴彦さん

僕は今、自分の将来のことについていろいろ考えています。もつとも深く悩んでいるのは、自分が求めているものは何かということ。今までもそのことについて、悩んだことは何度かありますが、結局答えがだせないままです。

でも、自分の将来のことについて中途半端な気持ちで終わらたくないと思っています。この自分の将来というのを見つめるためには、三つの方法があると考えています。まず一つ目は、今、自分が気になっているものを調べることです。興味関心があるものであれば、悩む必要もなく将来の夢をしっかりとると思うからです。次に二つ目は、先輩方の体験を聞いた自分からいろいろなことを体験することだと思っています。いろいろなことを学んできた先輩

作ってくれて、私の生活面のことや私の精神面のことまでも気遣ってくれました。そのとき私は、ホームステイファミリーを本当の家族のように感じる事ができました。まさにそれは私にとつての国際交流といえたいです。私が今、世界の社会で興味があることは、WHO(世界保健機関)やユニセフ等の主にボランティアについてです。現在の世界の国々は貧富の差が激しく、今だに内戦が続いている国があったり、戦争の跡地に地雷がうまっている国もあります。そのような国を見て、私はいつも「少しでも何かを助きたい。」と思っています。将来私は看護師としてそのような国へ行き、病気がけを治す仕事に就きたいと思っています。まずはその国のことをよく知り、少しでも分かっていえるようになりたいです。

私は今回の三股町ふるさと振興人材育成中学生高校生海外派遣事業に参加して、以前よりも世界に目を向けられるようになりました。これからは私にとつての国際交流を目標に、世界中のボランティアのことをよく知り、少しでも将来の夢への第一歩を踏み出せるように今後も努力していきたいです。

私にとつての国際交流



三股中学校3年 木下 愛さん

「私にとつての国際交流」、それ

■問い合わせ：三股町立文化会館 〒889-1901 三股町大字樺山3404-2
 ☎51-3462 FAX51-3561 三股町立図書館 〒889-1901 三股町大字樺山3406-8
 ☎51-3200 FAX51-3751

文化会館

◎郷土歌手の澄んだ歌声に心あったまろ～自主文化事業～

1月26日、都城市在住のソプラノ歌手「東由子(ひがしよこ)」さんによるソプラノコンサートを開催しました。

このコンサートは、東さんから提案をいただいた「うたでボカボカあったまろ」がテーマ。唱歌からオペラまで全14曲が、2部構成で披露されました。ピアノ伴奏は、東さんの最も信頼するパートナーである「田代りか」さんが、はるばる東京から参加されました。



岩元さん(左)と玉利さん



第1部は～春来たりなば春遠からじ～…冬の歌から春の歌をメインに披露しました。第2部では、～子どもと歌とおはなし～と題して、「おはなしうた」や分かりやすいオペラなど『読み聞かせ』を思わせる空間が演出されました。

この公演では、数々のコンサートを続けてきた東さんが、「リコーダーとの共演」という初めての試みに挑戦しました。三股中学校2年生の岩元あゆみさん、玉利美緒さんの2人が奏でるやさしいしらべにあわせ、「つるのおんがえし」のオペラを披露しました。3人が織り成す、息のあったすばらしい共演に、会場からは惜しみない感動の拍手が鳴り止みませんでした。

◇今後の「文化会館自主文化事業」

文化会館の自主文化事業を下記のとおり計画しています。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

開催日	<ジャンル>	料 金
3月8日(土)	<音楽>	一般1,000円 高校生以下500円
石井秀弦・上之園謙治 「打っ!たたく!はじく!」 津軽三味線パーカッションジョイントコンサート		

※「文化会館イベント情報」ご利用ください!

年度後半のイベント情報(A4両面・カラー刷り)を作成しました。今後の会館ご利用にお役にください。なお、アンケート欄等がございますので、ご協力をお願いいたします。

図書館

◎子育て講演会が開催されました

子育て支援の会「たんぽぽ」の主催で、1月25日、相愛保育園長高木美値子氏を講師に迎え、子育て講演会『絵本が育てる幼児の心』が開催されました。

高木氏は「口から発せられる言葉は、心の中の言葉から生まれるものです。絵本を通じて、いろいろな超常体験で豊かな感性、豊かな心を養うことが大切。小さな時からの絵本の読み聞かせがよい」と話



分りやすい内容が好評でした。また「胎児のときから言葉の芽は育ち始める。お腹の中にいる時から読み聞かせを始めると効果的」ともアドバイスされました。

図書館では、毎週水曜日(第3水曜日を除く)午前10時30分から、「ぶどうの会」による読み聞かせが行われています。ぜひおこしください。

◎「デュエット」による人形劇がありました



鑑を輝かせて見入るひと時を過ごしました。

綾町でペンションを営みながら、読み聞かせや人形劇等の活動をされているご夫婦、「デュエット」の公演が2月5日、図書館で開かれました。

約100人の親子が参加。パネルシアターや人形劇に身を乗り出し、歓声をあげながら楽しいひと時を過ごしました。

◎宮崎県図書館づくりセミナーが開催されました



講演「地域社会と図書館」

2月4日、県内外の図書館および図書関係者を迎え、図書館づくりセミナーが開催されました。基調講演に続き、「三股町立図書館の建設について」の事例発表を、三股町生涯学習課長が行いました。

◇**休館案内** 毎週月曜日(この日が祝日の時はその翌日)・祝日・毎月第3水曜日(=館内整理日)・館内資料一斉点検(=年1回15日以内)

◇3月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	*1	2	3	4	5

◇4月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	*1	2	3

いつものように大きなカーブにさしかかりました。そして、対向車のライトが見え、いつものように対向車とすれ違うはずが、その瞬間「グシャ」という鈍い音とともに強い衝撃に襲われ車が停止しました。とうとうやってしまった、というのが正直な気持ちでした。

その日は夕方から仕事関係の会合があり、その後、宴会が設けられました。もちろん私は当然のように、その会合、宴席に車を運転して行きました。いつものようにビール、お酒などを飲みながら、楽しいひと時を過ごしました。その後、いつものように2次会、3次会へと流れて行ったのでした。

私は地方に住んでおり、車は唯一の交通手段であり、生活には欠かすことのできないものでした。当然、飲酒運転は日常茶飯事でした。

飲酒運転をしてはいけないというところは、分かっていながら事故さえ起こさなければいい、検問にひっかからなければいいのだというこぼれに意識がいき、飲酒運転の違法性はすでに忘れてしまっていたのでした。

私はシートベルトを着用していたし、エアバックも作動したので右足を骨折した程度で済みましたが、相手の方の安否が気がかりでした。通りかかった人が救急車を呼んで下さり、病院に運ばれましたが、非常に危険な状態であることが聞かされたのが真つ暗になりました。時間の経過とともに、大変なことをしてしまったという後悔の気持ちで一杯になりました。そして、次の日の朝、被害者の方がお亡くなりになってしま

った。その瞬間、起こるべくして対向車と正面衝突をしてしまったのです。すぐに自分の車が対向車線にはみ出して衝突したのだと思いました。酒に酔っていてハンドル操作が遅れたため、家族のことが頭に浮かびました。そして、警察のことが気になりました。

あがな 贖いの日々

交通事故はもうたくさん

私は殺人を犯してしまったのです。1か月後、私は退院して事故後初めてご遺族の方にお詫びにお伺いしました。ご遺族の方の悲しみを目の当たりにし、激しい怒りの言葉にただただ頭を下げることで済ませませんでした。私の罪もない幸せな家庭を、私

は謝罪の気持ちで、夜も眠れず、泣き止まずに過ごしてまいりました。ご遺族の方には、想像できないほどの悲しみや辛さを与えてしまったのでした。

非常識な心
T・N 38歳 会社役員

事故から2年たちますが、自分の心が落ち着きを取り戻し、まともになればなるほど心の苦しみが大きくなっていきます。なぜなら飲酒運転をしてはいけないという誰でも知っていること、誰にでもできる簡単なことをどうして自分ではできない

の浅はかさが裏切ってしまったのです。幼い子供から父親を奪ってしまったのです。私がいくら罪の償いをしても、どんなに反省しても被害者の方の命は二度と戻ってこないのです。その後、十数回ほど遺族の方のお宅にお詫びに上がり、やっと示談が成立しました。任意保険から慰謝料7千円が支払われました。そして、裁判により懲役1年2月の判決をいただき、現在市原刑務所で受刑生活を送っています。

交通事故(人身)発生ワースト
平成14年12月31日現在
県内25位

平成15年1月31日現在
県内29位
(44市町村中)

※ワースト…悪い方からの順位

今現在、飲酒運転をしてはいけないという常識的なことを頭で理解するのではなく、心で感じられるようになり、心で感じることができなくなりました。この罪は消えることがないのです。被害者の方のご冥福をお祈りいたします。

いつかまた、こんな悲惨な事故を引き起こさないよう、心の戒めにしていただきたいと思います。(財団法人交通安全協会提供)

贖いとは、罪を償うという意味。ここに掲載してある手記は、交通事故を引き起こして刑務所で罪の償いをしていく人たちの

悔いの記録です。一瞬の過ちによって、家族、恋人、友人など親しい人々から隔絶され、自ら犯した罪を反省している様子が文脈の端端から

伝わってきます。このような悲惨な事故を引き起こさないよう、心の戒めにしていただきたいと思います。(財団法人交通安全協会提供)

■会場、問い合わせ：三股町健康管理センター 〒889-1901 三股町大字榑山3902-2

☎52-8481 FAX52-1056

4月の行事

○母子健康手帳交付

■期日 4月2日(水)・16日(水)
■時間 午前9時30分～11時30分

○赤ちゃん健診

■期日 4月4日(金)
■受付 午後1時15分～1時45分

○すくすく教室

■期日 4月28日(月)
■時間 午前9時30分～10時30分

○2歳6か月児健診

■期日 4月17日(木)
■受付 午後1時～1時30分

○リハビリ教室

■期日 4月9日(水)・16日(水)
23日(水)・30日(水)
■時間 午前10時～午後2時30分

予防接種(ポリオ)

■期日・受付時間 4月8日(火)午後1時～2時
■受けられる年齢 生後3か月～12か月
■受けるのが望ましい年齢 生後3～18か月(昭和50年～52年生まれの方の追加ポリオ接種も受け付けます)
■持ってくるもの 母子健康手帳、印鑑
※他の予防接種との間隔は4週間以上あけてください。

平成15年度 予防接種(集団)実施日

すべての予防接種は、生後3～90か月児が対象となっています。対象年齢内で受ければ無料ですが、対象外の年齢になると有料になります。ポリオ以外の予防接種は、個別接種になっています。医療機関で計画的に受けましょう。

集団接種<場所>:健康管理センター 受付時間:午後1時～2時>

Table with 4 columns: 予防接種, 受けるのが望ましい年齢, 回数・間隔・注意事項, 日程. Rows include Polio and Tetanus/BCG.

※受けるのが望ましい年齢とは、「予防ワクチンの免疫力の効果を最大限に発揮させる時期」のことをいいます。

※上記の予防接種については他の予防接種との間隔を4週間以上あけてください!

※母子健康手帳、印鑑を忘れずに持ってきてください!

食生活指針とは...国民一人ひとりが日常の食生活改善に対する自覚を持ち、具体的に実践できる目標として、10項目示したものです。

知っていますか? 食生活指針②

『自分の食生活を見直してみよう』

- 自分の健康目標をつくり、食生活を点検する習慣を持ちましょう。
子どものころから、食生活を大切にしましょう。
家族や仲間と、食生活を考えたり、話しあったりしてみましょう。
学校や家庭で食生活の正しい理解や望ましい習慣を身に付けましょう。

3月の当番医 ※診療時間 午前9時～午後6時 ※やむを得ず変更する場合がありますので、☎23-5555でご確認ください。

Table with 4 columns: 日, 柳田病院(小), 福津医院(内・産・婦), 出水医院(内), etc.

※歯科については、☎25-4100に問い合わせてください。

■問い合わせ：三股町役場 福祉保健課 〒889-1995 三股町五本松1-1

☎52-1111 FAX52-4944

高額介護サービス費等の支給について

高齢者福祉係(内線137・138)
利用者負担がそれぞれ下記の金額を超えた分については、申請することにより、高額介護サービス費等が支払われます。

- ・低所得者等以外・・・37,200円
・非課税世帯・・・24,600円
・老齢年金受給者等・・・15,000円

※該当者には、役場から文書でお知らせします。領収書を必ず保管しておいてください(申請が必要です)。

※通知書が届いていて、申請されていない方は早めに申請の手続きをしてください。

※2年を経過すると申請が無効(法200条)となりますので、お気をつけください。

介護保険被保険者証の更新について

高齢者福祉係(内線137・138)

「介護保険被保険者証の更新」を3月末に行います。

現在、お持ちの介護保険被保険者証は15年3月31日で有効期限が切れ、4月1日以降は使用できなくなります。

新しい保険証は郵送します。

「児童クラブ」を利用しませんか

児童福祉係(内線136)

町内の8つの児童館では、「放課後児童健全育成事業(児童クラブ)」に取り組んでいます。

これは、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童(小学校3年生まで)に、保護者の帰宅までの時間、適切な遊びや生活の場を提供することによって、児童の健全な育成を目的とするものです。

特に、小学校に新しく入学する児童をお持ちの家庭は放課後に対して不安を抱かれています。ぜひご利用ください。

Qどこで実施しているの?

Table with 3 columns: 山王原児童館, 東原児童館, 榑木児童館, etc.

Qどんなサービスが受けられるの?

児童クラブでは、登録児童に対して、放課後児童指導員が

- ①児童の健康管理、安全確保、情緒の安定
②遊びの活動への意欲と態度の形成

4月の当番医 ※診療時間 午前9時～午後6時 ※やむを得ず変更する場合がありますので、☎23-5555でご確認ください。

Table with 4 columns: 4/6日, 13日, 20日, 27日, 29日. Lists various clinics and their hours.

※歯科については、☎25-4100に問い合わせてください。

- ③遊びを通しての自主性、社会性、創造性を培うこと
④放課後児童の遊びの活動の状況の把握と家庭への連絡
⑤家庭や地域での遊び環境づくりへの支援

⑥その他放課後児童の健全育成事業に必要な活動 などを
行います。また、児童館で実施されるさまざまな行事に参加
できます。

下校途中に児童クラブへ参加し、保護者の帰宅時間や児童館の
閉館時間まで、安心して過ごすことができます(ただし、保護
者が学校に事前の承諾を受ける必要があります)。

Q「利用料」が必要なの?

「無料」です。

ただし、児童クラブへの「登録」が必要となります。

Q対象となる児童って?

・小学校低学年(小学1年生～3年生)で、保護者が共働き等
で家庭にいない児童

・その他、健全育成上指導を要する児童

※上記に該当しない場合は、役場福祉保健課または「児童クラ
ブ」実施児童館へご相談ください。

※1クラブあたり「おおむね20名」が定員です。

Q時間帯は?

毎週月～金曜日(年末年始・祝日除く) 午後1時～午後6時
毎週土曜日(祝日除く) 午前9時～午後6時

◎7月21日～8月31日(夏休み)の期間は、

毎週月～土曜日(祝日除く) 午前9時～午後6時
※上記時間帯で、各小学校の帰宅時間指導に沿って、来館児童
の帰宅を指導するようにしています。

Q登録するクラブはどこでもいいの?

「ご自宅近くの児童館」または「児童が通常通っている児童
館」で登録してください。

※「通学路から外れている児童クラブ」や「校区外の児童クラ
ブ」などの登録を希望する場合は、役場福祉保健課または
「児童クラブ」実施児童館へご相談ください。

Q実際に登録したい...どうしたらいいの?

申込書に必要事項を記入、押印の上、「児童クラブ」実施児童
館へ提出してください。

※申込書は「児童クラブ」実施児童館にあります。

Q登録しないと「児童館」は使えないの?

従来どおり、小学生以上なら誰でも自由に児童館に遊びに行け
ます。ただし、就学前児童は保護者同伴でご利用ください。

■問い合わせ

福祉保健課児童福祉係(☎52-1111・内線136)
「児童クラブ」実施児童館(左表)

三股町役場 〒889-1995 三股町五本松1-1

☎52-1111(代表) FAX52-4944

「広報みまた」と「回覧」は、4月に限り「10日」に発行します

支部長の改選などに伴う事務引継ぎで混乱が予想されますので、4月に限って、下記のとおり変更します。ご了承ください。



- ①「広報みまた」は毎月1回(1日)発行ですが、4月号に限り「10日」に発行します。
②「回覧」は毎月2回(1日と15日)発行ですが、4月に限り「10日」に1回だけ発行します。
③これらの支部長等への送付は、4月10日(木)・11日(金)を予定しています。

■問い合わせ 総務課秘書広報係・総務課行政係 ☎52-1111(内線222・225)

固定資産

固定資産課税台帳の縦覧について

15年度の固定資産課税台帳の縦覧は地方税法の改正および評価替えにより、5月1日から開始します。詳しい内容は4月の回覧でお知らせします。

■縦覧期間 5月1日(木)～6月2日(月) <土・日・祝日を除く>

■縦覧時間 8:30～12:15、13:00～17:00

■縦覧場所 三股町役場税務課 ※この機会に、ぜひ固定資産課税台帳を縦覧されて、課税内容をご確認いただき、固定資産の評価に対するご理解をお願いいたします。

■問い合わせ 税務課資産税係 ☎52-1111(内線142・143)

奨学金

三股町奨学金制度について

町では、下記のとおり奨学生を募集します。貸与(償還あり)です。

■対象(資格)者 4月1日現在三股町に1年以上居住している人の子弟で、学校教育法による高校・大学・短大および修業年限2年以上の専修学校(専門課程)に進学または在学し、人物、学業ともに優秀かつ健康で、学費の支弁が困難である

と認められる人。

■採用人数 若干名
■貸与月額 高校生 8,000円
高専生 8,000円
専修学校生 18,000円
短大生 18,000円
大学生 18,000円

■申込期間 4月7日(月)～18日(金)
■問い合わせ 学校教育課学校教育係 ☎52-1111(内線423)

都城育英会奨学金制度について

都城育英会では、下記のとおり奨学生を募集します。貸与(償還あり)です。

■対象者 ①都城市または北諸郡内に居住している人の子弟
②平成15年4月に大学、短大、専修学校(都城コンピュータ・福祉医療専門学校、都城情報処理専門学校、都城歯科衛生士専門学校、都城文化服飾専門学校)に進学する人で、学費の支弁が困難と認められる人

■採用人数 38人(予定)
■貸与月額 30,000円(無利子)
■申込期間 4月10日(木)～23日(水)
■問い合わせ 都城育英会事務局 ☎23-2161

宮崎県奨学金制度について

県では、右記のとおり奨学生を募集します。貸与です。

<大学奨学生>

■申込資格 ①大学(短期大学含む、大学院を除く)に在学していること。主として生計を維持する人が県内に住んでいること。②経済的理由により就学困難な人。

■月額 国公立29,000円・私立39,000円

<へき地育英資金(高校・高専奨学生)>

■申込資格 ①高等学校(高等専門学校および中等教育学校後期課程を含む)に在学していること。主として生計を維持する人が県内に住んでいること。②経済的理由により就学困難な人。

■月額 国公立16,000円・私立23,000円

<へき地育英資金(高校・高専奨学生)>

■申込資格 ①高等学校(高等専門学校および中等教育学校後期課程を含む)に在学していること。主として生計を維持する人が県内に住んでいること。②経済的理由により就学困難な人。

■月額 <自宅>国公立27,000円・私立34,000円 <自宅外>国公立38,000円・私立45,000円

■申込方法 募集要項および申請書類を4月現在に在学している学校の窓口で配布します。学校の指定する期日(おおむね5月初旬)までに申し込みください。
■問い合わせ 県教育庁学校教育課 ☎0985-26-7237

ボランティア

みまたボランティアまつり

社会福祉協議会では、次の内容で「ボランティアまつり」を開催します。楽しい企画、盛りだくさんの内容です。お気軽にお越しください。

■日時 3月16日(日)午前10時～午後3時
■場所 老人福祉センター
■内容 ・チャリティーバザー・出店・ミニコンサート(12時～)・輪に

茶じよけ

二部の仕事というのは承知です。しかし、図書館で一体何が起きているのかをぜひ皆さんに知ってほしい。そして一緒に考えてほしい。図書館職員みんなの熱い思いが今月号特集の原点です。貸出総数を町人口で割った、貸出率(7%)の表は驚きの高さ。皆さんの継続的な利用はもちろんです。近隣市町の利用者が多いからでは?率直にその思いを。なぜなら私の町の友人にはファンが多く、本当に広く利用されているんだなという実感を感じてきたからです。▽自慢の図書館がこれからはほしい。そう願って制作した今月号「残念ながら町内限定」で、皆さんの町外の友人や親戚と一緒に利用する方がいたら、ぜひとも利用してほしい。理想を、そして1年前には思いもよらなかつた悲しい現実を、どうぞ伝えてみてください。そして、もう一度考えてみてください。お願いします。

三股町の人口

平成15年2月1日現在
男 11,505人 出生 15人
女 12,905人 死亡 27人
計 24,410人 転入 68人
前月比 -18人 転出 74人
世帯数 8,920戸(+3戸)

たばこは町内で買いたまおう

■募集区域 県内全域

■問い合わせ・申し込み

県建築住宅課 ☎0985-26-7194
宮崎県建築住宅センター ☎0985-50-5573

故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。

誠にありがとうございます。

平成15年1月1日から

平成15年1月31日まで

Table with columns: 寄付者, 続柄, 故人名, 年齢, 地区, 金額. Lists names and amounts of donations.

■税務課から一お詫びとお願ひ

日ごろから税務行政にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

先日「町県民税申告のお知らせ」として、特定の方に対し「申告不要」という表記を含むハガキを送付したましたが、この中で一部配慮に欠けた部分がありました。ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたしますとともに、今後とも事務改善に努めてまいりますので、引き続き皆さまのご理解ご協力をお願い申し上げます。

■スポーツ保険

万一の事故に備えて

スポーツ安全保険に加入を

平成15年度のスポーツ安全保険の受付が3月から始まります。

子供会、運動クラブ、文化・ボランティア団体など、5人以上のグループであれば加入できます。加入して、万一のけがや賠償責任などの事故に備えましょう。

掛け金は、子どもや文化活動の団体が1人年額500円(子どもワイド保険は1,050円)、老人クラブ団体が800円、成人のスポーツ団体が1,500円となっています。

また、今回は保険料、加入区分(子ども団体の指導者やダンスグループ等)の改訂が行われましたので、毎年ご加入の団体も「あらまし」をよく読んでお申し込みください。

加入依頼書は生涯学習課社会体育係にあります。前年度加入団体につきましては、3月上旬に発送予定です。

■問い合わせ 生涯学習課社会体育係 ☎52-1111(内線432・433)
スポーツ安全協会宮崎県支部 ☎0985-55-3136

■その他

高齢者が円滑に入居できる

賃貸住宅の登録募集

宮崎県では、賃貸住宅を高齢者円滑入居賃貸住宅として登録される方を募集しています。

この制度は、高齢者であることを理由に入居を拒否することのない住宅について登録し、その情報を広く提供するというものです。登録を受けた賃貸住宅の貸主は、(財)高齢者住宅財団が滞納制度を保障する「家賃債務保証制度」を利用することができます。

■募集期間 随時

ごみカレンダー 3月

Calendar for March showing burnable (可燃) and non-burnable (不燃) days.

4月

Calendar for April showing burnable (可燃) and non-burnable (不燃) days.



三股町立文化会館自主文化事業
(チケットの電話予約を受け付けています)

津軽三味線 パーカッション ジョイントコンサート

躍動する響



打つ!! たたく!! はじく!!



いしい しゅういち
石井 秀弦 <津軽三味線演奏家 都城市在住>

16歳から三味線を始める。92年、津軽三味線石井流を創立。96年と97年、津軽三味線発祥の地、青森県金木町の「津軽三味線全日本大会」で優勝し最高位「仁太坊賞」を受賞。98年、新しい演奏スタイルによるグループ「DADAN(打弾)」を結成し、2001年「JAPAN2001」イギリス公演に出演、メインステージを精め大成功を収めた。現在は演奏家、津軽三味線石井流家元、またDADANのリーダーとして、邦楽の世界にとどまらず洋楽とのセッションにも積極的に取り組んでいる。

うえのぞの けんじ
上之園謙治 <パーカッショニスト、ドラマー 三股町在住>

都城工業高校吹奏楽部でパーカッションと出会う。甲斐裕三郎に師事。ヤマハポピュラーミュージック(PMS)ドラム科講師を経て、92年「うえのぞのドラム教室」を開講。2001年、「JAPAN2001」イギリス公演に「DADAN(打弾)」のメンバーとともに出演。現在は、人気グループ「GLAY」のドラマーとして活躍する「Toshi Nagai」とセッションを行うなど幅広い活動を展開するほか、楽器メーカー「Roland」の専属プレーヤーとして電子ドラム(V-Drums)やデジタルパーカッション(HAND SONIC)のデモンストラーターも務める。

日時 / 3月8日(土) 18:30開場・19:00開演

会場 / 三股町立文化会館
チケット / 好評発売中・全席自由
一般1,000円 高校生以下500円

取り扱い・問い合わせ / 三股町立文化会館
Tel0986-51-3462 Fax0986-51-3561